

## セクター分析（産業別利益動向）

|          | 前回  | 今回  | コメント   |
|----------|---|---|--|
| 鉄鋼       |    |    | 震災の影響を受け、主要顧客である自動車業界で減産が見込まれるほか、停電による生産への影響で数量の減少が見込まれる。加えて、新興国での旺盛な需要を背景に原材料価格は高水準を維持しており、マージンも悪化が見込まれることから、2011年度は減益となる見通し。                     |
| 非鉄・電線    |    |    | 電線業界は北米・新興国向けの光ファイバー需要が持続するが、競争環境は厳しい。自動車向けの落ち込みが懸念されるが、電子材料等の需要は堅調。非鉄業界は金属市況の影響を大きく受けるが、需給環境はタイトである。総じて2011年度は横ばい圏となる見通し。                         |
| 化学       |    |    | 石油化学は、非エチレン系製品を中心に新興国の需要増から一定のスプレッドを確保しよう。電子材料は、一部の材料で震災の影響が見込まれる他、稼働率や副材料の調達における影響が懸念される。ただし総じてみれば2011年度の利益は横ばい圏の推移を見込む。                          |
| 紙・パルプ    |   |   | 震災の影響を受け、国内印刷用紙需要は大きく落ち込んでおり、供給力の低下もあることから、数量の回復には時間がかかる見込み。また、輸入紙の流入による価格低下圧力や原燃料価格の高止まりによりマージンの改善も難しく、2011年度は減益となる見通し。                           |
| 建設・住宅    |  |  | 大手ゼネコンは資材価格低下の恩恵を受けた高採算案件が一巡するが、海外の赤字工事がなくなるため、工事利益率は前年と同程度になる。年後半から復興需要の本格化が期待できるが、同時に民間企業の設備投資抑制が見込まれるほか、住宅着工の減速も懸念される。総じて2011年度の利益は横ばい圏の推移を見込む。 |
| 不動産      |  |  | 大手不動産会社の賃貸ビルは三大都市圏に集中しており、震災の直接的な影響は限定的である。また、マンション分譲事業は都心部の物件が多く、前年度と同程度の売上げ確保は可能であろう。総じて2011年度の利益は横ばい圏の推移を見込む。                                   |
| 自動車      |  |  | 自動車部品、電子部品の調達や電力供給の影響により、自動車メーカーは減産を余儀なくされており、生産台数は減少が予想される。サプライヤーを含めた本来の生産能力の回復には年末まで時間を要することが懸念される。総じて2011年度は減益を見込む。                             |
| 半導体・電子部品 |  |  | 最終製品の市場拡大に伴い、半導体、電子部品とも需要の増加が見込まれる。しかし、震災の影響による稼働率の低下や一部部材の調達難、これらによる機会損失等が想定されることから、全体として2011年度は減益となる。総じて2011年度は減益となる。総じて2011年度は減益となる見通し。         |
| 家電・AV    |  |  | 部品の調達難の影響等による機会損失の発生が見込まれる。海外は新興国の需要拡大等に支えられ主要製品の台数増加が見込まれるが、国内市場でのエコポイント効果の剥落や消費者マインドの低下もあり、2011年度は全体として減益となる。総じて2011年度は減益となる見通し。                 |

|       | 前回  | 今回  | コメント  |
|-------|---|---|---|
| 機械    |    |    | 円高による採算低下はあるも、コスト削減で補い、先進国も含めた受注回復傾向が続く。F A・新興国インフラ整備・プラント関連等、旺盛な需要を背景に成長局面に入っている分野も見受けられる。出荷が滞るなど震災の影響が想定されるが、全体としては増益基調が続くと見込まれる。       |
| 運輸    |    |    | 鉄道大手は、東北・北関東での運休やビジネス客、観光客の需要低迷等の影響から減益が見込まれる。海運大手は、自動車船の輸送数量減やバラ積み船運賃の低迷等の影響から減益が見込まれる。トラック大手は、物流停滞や燃料高の影響を受け、減益が見込まれる。総じて2011年度は減益の見込み。 |
| 通信    |    |    | データ通信の利用増と音声通話等の減少幅縮小に加え、顧客獲得費や設備関連費用が抑制されるため微増益となる見込み。固定データ通信には価格引下げ要請も見られるが、2011年度の業績には影響ないと予想される。                                      |
| 情報ソフト |    |    | システム投資は保守・運用分野の下支えに加え、開発案件の回復などから上向きに転じることが見込まれる。利益は、低採算案件の影響が縮小することにより改善が見込まれるが、2011年度も小幅増益に留まると予想される。                                   |
| 小売    |  |  | 生活必需品を取り扱うスーパーなどの売上は堅調に推移すると見込まれるが、裁量消費財を多く取り扱う百貨店の売上は消費者マインドの低下に伴い伸び悩む見通し。また、夏場の節電による影響などで大型商業施設の業績に対する不透明感が強い。                          |
| 食品    |  |  | 工場の被災や電力供給の影響などにより生産面への影響が出ている。また、穀物を中心に原材料価格の上昇は続いているが、販促費の削減などにより利益面への影響は限定的と考えられる。総じて2011年度の利益は横ばい圏を見込む。                               |
| 医薬品   |  |  | 医療費抑制策の影響継続や、海外での企業買収によるのれん償却等が見込まれるものの、特許切れの悪影響が短期的には一服することや国内を中心とした新薬投入が利益成長に寄与する。全体としては微増益となることを見込まれる。                                 |
| 電力・ガス |  |  | 節電の影響等で電力販売量は大きく落ち込む見通し。また、震災の影響によって原子力発電所の稼働率低下が全国的に見込まれ、代替燃料の使用によるコストアップも収益を圧迫すると考える。総じて2011年度は大幅な減益となることを見込まれる。                        |
| 銀行    |  |  | 前年度の利益押し上げ要因となった金利低下に伴う債券売却益が剥落することや、震災の影響による与信先企業の業績悪化等もあって与信コストは再び増加すると見込まれることから、総じて2011年度は減益となると予想する。                                  |

(注) 業種の代表企業群について、水平線は経常損益ゼロ水準、矢印は今後1年間の方向感を示す。増減益は経常利益が10%以上変化することを示す。網掛けは前回から矢印の向き・水準に変更があったことを示す。